



# 2026年度 SB Japan Forum

法人会員プログラムのご案内

- *The Bridge to Better Brands* -

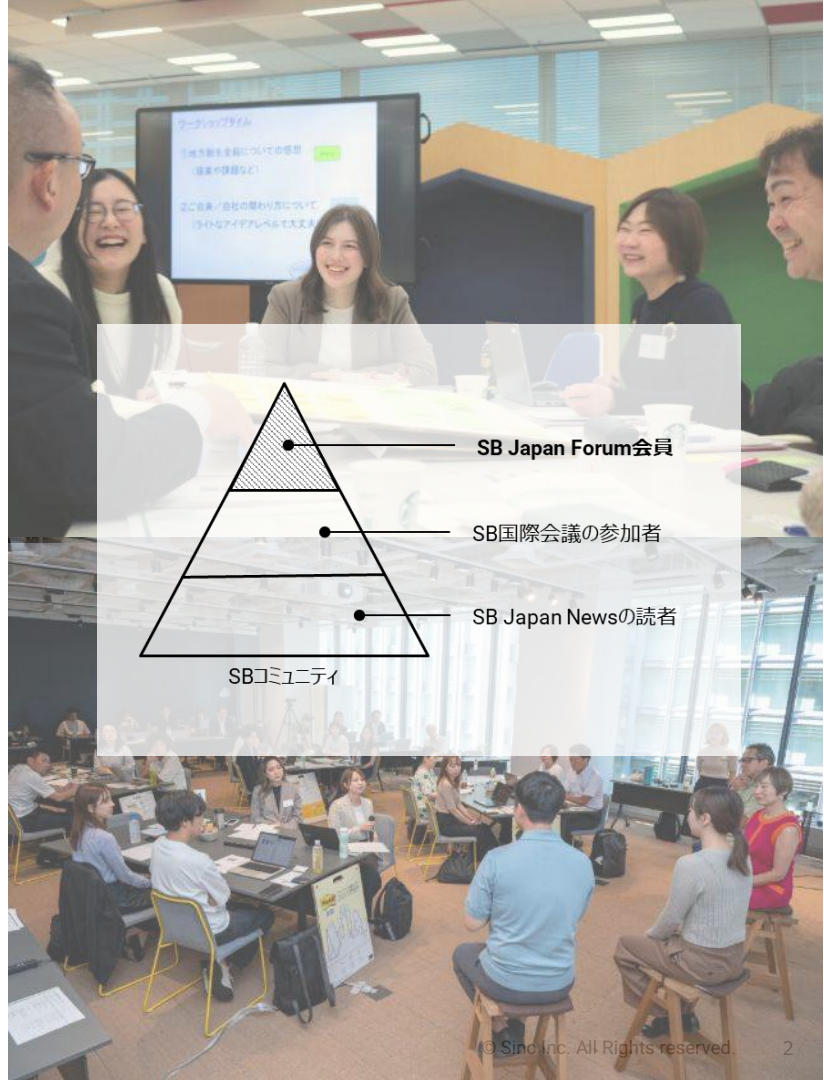
サステナブル・ブランド ジャパン (株式会社Sinc)

# What is SB Japan Forum?

サステナブル・ブランド（SB）は、2006年に米国で誕生したグローバルコミュニティ。「サステナビリティ（持続可能性）」を経営や商品・サービスなど「ブランド（企業価値創造）」の基盤に統合することで、自社の競争力やブランド価値を高める取り組みを推進し、真に持続可能な未来を切り拓いていくことを目指しています。

企業の成長に不可欠な「サステナブル戦略」を支援し、継続的な議論と実践の場を提供する組織です。

その中でもSB Japan Forumは、SBコミュニティのリーダー的存在。  
サステナブル・ブランド ジャパンのコミュニティをともに創るメンバーとして、イニシアチブを発揮していただく場です。





# Why Join SB Japan Forum?

サステナビリティ担当者として、業務に直結する最新動向をしっかりキャッチアップしていくために。  
サステナブル・ブランドのプロデューサーやカタリスト、ゲストスピーカーが見解を共有し、  
現状の把握と、これからの推進に向けた知見をともに深めていく。  
このSB Japan Forum には、そのための場と、そのためのネットワークがあります。

## SB Japan Forum で 得られること

- 体験型WS・ディスカッション・アウトプットを通じた実践的な学び
- 他業界のサステナビリティ担当者との横のつながり
- 共創パートナーとの新たな接点づくり

### ▼参加者アンケートより

企業が各テーマについてどのように考えているか、  
事業とどう関連するか多様な関連について考える  
良い機会

専門家の視点から、海外の最新動向を聞ける場所は  
他にないので有難い

お話を聞いただけでなく考えたり発言したり、  
他者の意見・考えを多く聞けたりと  
とても良い刺激を得られるプログラム

今まで参加したこういったセミナー、交流会の中で  
一番楽しくて、一番難しく、一番ためになる時間

# Our Theme for 2026

## 年間テーマ： ALL RISE — 障壁を突破するコレクティブ・アクションの場へ —

The logo for 'ALL RISE' features a stylized bar chart with four vertical bars of increasing height from left to right, positioned above the words 'ALL' and 'RISE' stacked vertically in a bold, dark blue, sans-serif font.

サステナブル・ブランドの今年度のグローバルテーマである「ALL RISE」とは、一人ひとりの実践が共鳴し、ビジネスと社会を次のステージへと押し上げる連鎖への期待をこめています。生物多様性、サーキュラーエコノミー、ウェルビーイング—複雑化するサステナビリティ課題が、もはや一社だけでは突破できない今だからこそ、業界の垣根を越えた「コレクティブ・アクション」が求められています。2026年度は、世界の潮流をいち早く自社戦略に組み込む実践知の習得と、異業種間の越境的な共創を通じて、壁を打ち破る一年を目指します。

「理想論」を「実装」へ—その一步を、ともに踏み出しましょう。

2026年度は・・・

- ✓ 昨年度に引き続き、希望者限定で、より実践的なアウトプットに力を入れた**分科会**を実施
- ✓ 会員限定で、各回の内容をまとめた**レポートをデータでご提供**。自社のビジネスに生かすためのツールとなります。
- ✓ **フィールドワーク**を実施

# 2026 Program Schedule

● 通年テーマ： **ALL RISE – 障壁を突破するコレクティブ・アクションの場へ –**

● 開催スケジュール：

別日にフィールドワークを企画  
中  
(日帰り想定)

# 01

7/7(火)  
15:00-17:30

企業×企業

✓ SB San Diego最新報告

# 02

9/15(火)  
15:00-17:30

企業×地域/自治体

✓ 次回のSB国際会議で  
取り上げるべきテーマを皆で議論

# 03

11/10(火)  
15:00-17:30

企業×NPO/NGO

# 04

'27/1/19(火)  
15:00-17:30

コレクティブ・アクションの  
グローバル事例

※リアル開催のみとなります。

SB国際会議

'27/2/17(水)  
-18(木)

SB | 2027 | TOKYO  
MARUNOUCHI

希望者限定：分科会

※各回のテーマは決定次第お知らせいたします。

※内容は予告なく変更となる場合がございます。

# 分科会について

昨年度に引き続き、希望者が集まり、特定のテーマについて議論をする『分科会』を実施します。個々のテーマに対して知見を深めるとともに、ディスカッションを通して、一つの方向性を示し、発信するところまでを目指します。

# 01  
7/7(火)  
13:30-14:30

# 02  
9/15(火)  
13:30-14:30

# 03  
11/10(火)  
13:30-14:30

# 04  
'27/1/19(火)  
13:30-14:30

## AIと統合報告

劇的な進化を続け、AIエージェントの普及によりSaaSの死も言われています。そのような中で、財務/非財務情報を統合した統合報告は今後どのようなかたちで変化していくのか。実務者に役立つ分科会として展開してまいります。



オーガナイザー：  
山吹 善彦  
株式会社Sinc  
統合思考研究所  
副所長 上席研究員

## サステナ担当がリードする、 AI時代の事業創出ワーク

SB Pull Factor WorkshopをAI時代に合わせてアップデートする4ヶ月のプログラムです。AIに精通した講師のもと、異業種の仲間とともにAIリテラシーを高めながら、現場目線でワークショップをつくり直していきます。



オーガナイザー：  
高島 太士  
サステナブル・ブランド国際会議  
カタリスト（コミュニケーション分野）

SB  
2027  
TOKYO  
MARUNOUCHI

- ✓ 各回の通常プログラムの前後いずれかで1時間×4回の「分科会」を実施
- ✓ 1年間通して、共通のテーマ&固定のメンバーでディスカッションを重ねる
- ✓ 分科会の兼任不可。各分科会への参画は1社1名まで。

※分科会単体でのご参加をご希望の場合は、事務局までご相談ください



各分科会のメンバーでディスカッションを重ね、提言作成をしたり、ツール開発を行うなど、より実践的なアウトプットを目指します。最終的には、SB'27にて、その成果発表の場を設けます。



2025年度は、分科会の活動から派生した企画として、分科会メンバーや講師陣がSB'26のセッションに登壇。SSBJの全体概要をはじめ、リスクと機会、マテリアリティ、財務とサステナビリティの統合といったテーマについて協議結果を共有し、今後の展望をお伝えしました。

# 分科会のご案内 – 統合報告分科会

## AIと統合報告



オーガナイザー：山吹 善彦 氏  
株式会社Sinc  
統合思考研究所  
副所長 上席研究員

概要)

劇的な進化を続け、AIエージェントの普及によりSaaSの死も言われています。

そんな中で、財務/非財務情報を統合した統合報告は今後どのようなかたちで変化していくのか。実務者に役立つ分科会として展開してまいります。

対象者)

- ・ESG情報開示、サステナビリティの取り組みでAIを利用することに関心のある方
- ・統合報告書作成、サステナビリティ情報開示に携わり、投資家含むステークホルダーとの対話を行っているご担当者の方
- ・中長期戦略立案にサステナビリティを組み込み、事業戦略と連動したサステナビリティの取り組みを推進したいご担当者

7/7(火) 13:30-14:30

【報告】統合報告書をAIで作成する

ゲスト講師



株式会社ウィルズ

常務取締役  
コーポレートコミュニケーション本部 本部長  
共創プラットフォームプロジェクトオーナー&リーダー  
**山本 章代 氏**



コーポレートコミュニケーション本部  
CCソリューション部  
事業企画グループ長  
**間宮 孝治 氏**

9/15(火) 13:30-14:30

【評価】AIによる企業評価

ゲスト講師



シエルパ・アンド・カンパニー  
株式会社  
代表取締役 CEO  
**杉本 淳氏**

11/10(火) 13:30-14:30

【監査】財務情報のAIでの提供

ゲスト講師

EY Japan

※お声がけ中



'27/1/19(火)  
13:30-14:30

調整中

# 分科会のご案内 – マーケティング分科会



オーガナイザー：高島 太士  
サステナブル・ブランド国際会議  
カタリスト（コミュニケーション分野）

## サステナ担当がリードする、AI時代の事業創出ワーク

目標)

SB Pull Factor WorkshopをAI時代に合わせてアップデートする4ヶ月のプログラムです。まずワークショップを体験し、次にAIの視点から改善点を議論。試作版で実際に手を動かし、最後に完成版を自社に持ち帰ります。マーケティング経験や高度なAIの知識は不要。AIに精通した講師のもと、異業種の仲間とともにAIリテラシーを高めながら、現場目線でワークショップをつくり直していきます。

SB Pull Factor Workshopとは)

持続可能なライフスタイルに向けた文化や行動を形成するために、マーケッターやブランドリーダーが結束力のあるコミュニケーションを構築するための実用的なツールキット(企業内ワークショッププログラム)です。

参考：<https://www.sustainablebrands.jp/news/1216450/>

対象者)

- ・サステナビリティを基軸に、既存事業の見直しや新規事業の立ち上げを考えている方
- ・サステナビリティでエッジを効かしたいマーケティング担当者
- ・サステナビリティでブランディングを打ち出したいサステナビリティ担当者

7/7(火) 13:30-14:30

SB Pull Factor Workshopを  
体験する

9/15(火) 13:30-14:30

「AI時代に合っていないと感じた  
部分」を議論する

11/10(火) 13:30-14:30

アップデートした内容で  
試してみる

'27/1/19(火) 13:30-14:30

完成版を確認し、  
自社で使うイメージを描く

# SB Japan Forum 2026 Membership Plans

SB Japan Forumの法人会員では、入会から2027年3月31日までの年会費を下記のように設定しています。

※表示価格は消費税込みの金額です

## ◎会員プラン種類

- |   |           |
|---|-----------|
| <input type="checkbox"/> スタンダード会員（企業向け）             | ¥ 550,000 |
| <input type="checkbox"/> SB'26 東京・丸の内 スポンサー会員（企業向け） | ¥ 220,000 |
| <input type="checkbox"/> NPO/NGO会員（NPO/NGO団体向け）     | ¥ 110,000 |

▶ SB'26 東京・丸の内にご協賛いただいたスポンサー企業様向けプランです

## ◎プラン内容（\*全プラン共通）

- 各フォーラムの参加人数：**2名**まで（各回テーマに合わせて、追加で1名の参加が可能です。）
- 分科会の参加（各会1名まで）
- SB'27 東京・丸の内への無料ご招待：**3名様分** ◆1名様分参加費[2日間]：一般 ¥55,000/ NPO・NGO ¥38,500
- SB Japan News 広告メニュー：統合レポート・ライブラリーへの掲載 ◆¥110,000 相当
- SB Japan News 広告メニュー：メールマガジン ヘッダー広告（1回/毎週木曜日配信） ◆¥77,000相当
- SB Japan News 広告メニュー：バナー広告掲載（静止画バナー/1カ月） ◆¥220,000相当
- SB Japan News内 \*[コミュニティページ](#)へのロゴ掲載（※HP&各種レポートのURLリンク掲載含む）

\*SB Japan Newsについては、次ページ参照

## ◎会員特典

- SB'27 東京・丸の内 ご協賛費：**10%割引**（※スタンダード会員プランのみ適用）
- SB Japan News の各種広告掲載料金：**20%割引**

※会員数が一定数に達しない場合、今年度の実施を中止する場合がございます。ご了承ください。

# SB Japan News

ビジネスの視座からサステナビリティに向き合い、ブランドの成長と持続可能な社会の実現を同時に促進する。SB Japan Newsはそんな取り組みやヒントになる事例を紹介し、ニュースの配信を通して、読者と共にブランド・イノベーションを創出する情報発信WEBメディアです。また記事の相互連携によるグローバルへ向けての情報発信を行っています。



▼サステナビリティに感度の高い読者にリーチできます。

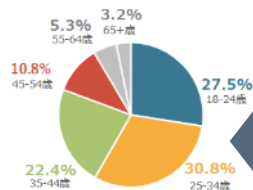
<https://www.sustainablebrands.jp/>

**ユニークユーザー：180,000人**

- 月間PV数：960,000PV
- メールマガジン会員：35,260人
- メールマガジン開封率：28.2%

(2026年4月現在)

購読層の半数以上がミレニアル世代Z世代の読者も2割を占めます。



読者属性：年齢

SB Japan News 発行・運営元：

株式会社Sinc <https://www.sri-sinc.jp/>

提携：Sustainable Brands, PBC (本社：米国カリフォルニア州サンフランシスコ)

<https://sustainablebrands.com/about>



@Sustainable.Brands.Japan

フォロワー / 17,123 人



@SustainBrandsJP

フォロワー / 4,097 人



@sustainablebrandsjapan

フォロワー / 1,985 人

▼グローバルに広がる「SB.com」

<https://sustainablebrands.com/>



ユニークユーザー (人)  
→ **100万+**

SNSのフォロワー総数 (人)  
→ **18.8万**

相互連携



# Highlights of 2025

通年テーマ

**Adapt and Accelerate**

～適応と加速、そして共感が導くサステナブルな未来～

2025年度のSB-Japan Forumでは、「**Adapt and Accelerate**」を通年テーマとし、各回に「サーキュラーデザイン」「生物多様性」などの分野を設定しながら、**企業が直面するサステナビリティ課題に対し、"適応するだけでなく、いかに変革を加速させるか"**を問い続けてきました。

多様なテーマを通じて実践企業の知見を共有し、自社の取り組みを一步前に進めるヒントを提供しました。

また、「**SSBJ**」「**マーケティング**」の2つの分科会では、同じ課題を持つ参加者が回を重ねることに議論を深め、自社の実践に直結する学びを得る場となりました。



「SSBJ」「マーケティング」の2つのテーマで分科会を実施



## テーマとGuest Speaker

### サーキュラーデザイン

Guest Speaker :  
BIOTA 代表取締役 伊藤光平氏  
BIOTA 研究開発事業部 古屋瑠菜氏  
レポート記事は[こちら](#)



### 生物多様性

Guest Speaker :  
バイオーム 代表取締役 CEO 藤木庄五郎氏  
レポート記事は[こちら](#)



### Well-being

Guest Speaker :  
武蔵野大学ウェルビーイング学部 准教授 中村一浩氏  
レポート記事は[こちら](#)



### Global

Guest Speaker :  
日立製作所 増田典生氏  
レポート記事は[こちら](#)



### 地方創生

Guest Speaker :  
東京大学 先端科学技術研究センター  
特任専門員 日根かがり氏  
LINEヤフーコミュニケーションズ 依田所花氏  
レポート記事は[こちら](#)





# 参加企業・団体一覧 (2023~)

これまで、幅広い業界から多くの企業・団体・アカデミックの方にご参画いただいております。

株式会社I-ne

株式会社インテック

エルメスジャポン株式会社

花王株式会社

株式会社キッツ

株式会社QVCジャパン

クラシエ株式会社

株式会社コーセー

South Pole Japan株式会社

サントリーホールディングス株式会社

株式会社島津製作所

住友林業株式会社

積水化学工業株式会社

株式会社ZOZO

株式会社ダイセル

帝人フロンティア株式会社

東京大学

TOPPANホールディングス株式会社

日本製紙クレシア株式会社

日本マクドナルド株式会社

日本ロレアル株式会社

PwC Japan合同会社

フィリップ モリス ジャパン合同会社

株式会社ベネッセホールディングス

ヤマハ発動機株式会社

株式会社YUIDEA

YUTAKA ONEFABRICA SYSTEM株式会社

LINEヤフー株式会社

一般社団法人アクトポート

エコツェリア協会

紀友会

特定非営利活動法人CLOUDY

佐賀県庁

WWFジャパン

東京大学

宮崎県庁



# Our Track Record

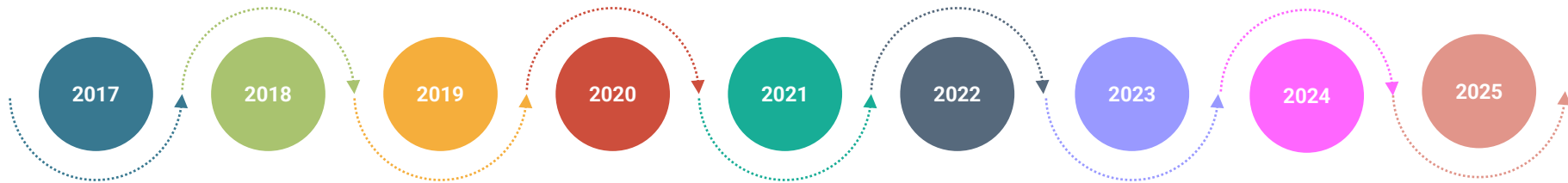
『ACTIVATING PURPOSE』の復習と  
『REDEFINING the GOOD Life』の予習

『REDESIGNING the GOOD Life』の復習と  
『DELIVERING the GOOD Life』の予習

サステナブル・ブランディング  
- サステナビリティ活動とブランド価値向上との連動を目標  
指す企業実務者向け実践ワーク -

未来への経営戦略  
~ 私たちがサステナビリティを  
経営に落とし込む ~

Adapt and Accelerate  
~ 適応と加速、そして共感が導く  
サステナブルな未来 ~



『REDEFINING the GOOD Life』の復習と  
『REDESIGNING the GOOD Life』の予習

WE ARE REGENERATION

グローバル視点でのサステナビリティ再考  
- 世界から見て、日本のサステナビリティは  
どう変化していくべきか。 -

新たな世界を生み出すRegenerative戦略  
- 地域・世界・スタートアップから変化を学ぶ -





# SB Japan Forumの活動主旨

## □ フォーラム設立の目的

「サステナブル・ブランド」という共通の価値観をもったすべての組織・団体、ビジネスパーソンをネットワーク化し、

- 知見やノウハウを共有する
- 共創を通して、活動レベルを高める
- その成果や体験を積極的に発信する

そして、真の「サステナブル・ブランド」が、数多く誕生することに貢献する。

## □ 対象

「サステナブル・ブランド」に興味を持ち、その価値に共感し行動できる、すべての

- サステナビリティやブランディングに携わるビジネスリーダー
- NGO／NPO等の非営利組織
- 大学および研究機関等の教育機関

## □ 目指す成果・効果

1. ブランドのサステナブル戦略における 課題解決の糸口が見つかる
2. ブランドのサステナブル戦略を コアなインフルエンサーにリーチ できる
3. ブランドのサステナブル戦略を グローバルに向けて情報発信 できる
4. ブランディングやマーケティングの パートナーと出会う ことができる
5. イノベーションに向けて、新たな協業先と出会う ことができる



# CONTACT US

Sustainable Brands Japan

---

## お問い合わせ

SB Japan Forumに関するご質問は、お気軽にお問い合わせください。

SB Japan Forum事務局（株式会社Sinc）

E-mail : [forum@sustainablebrands.jp](mailto:forum@sustainablebrands.jp)

企画主催：サステナブル・ブランド ジャパン（株式会社Sinc）

▶SB Japan Forum : <https://www.sustainablebrands.jp/community/forum/>

▶SB Japan News : <https://www.sustainablebrands.jp/>

# 2026年度 第1回 SB Japan Forumのご案内

- **開催日** : 2026年7月7日（火） 15:00-17:30（終了後に30分程度、懇親の時間を設けております）
- **開催場所** : City Lab TOKYO（東京都中央区京橋3丁目1-1 東京スクエアガーデン6階：詳細は[こちら](#)）
- **開催テーマ** : **企業×企業のコレクティブ・アクション 「サステナブル・エコシステム」**

2026年度の年間テーマ「ALL RISE」の幕開けとして、第1回フォーラムでは「企業×企業のコレクティブ・アクション」を取り上げます。

まず、6月に開催されたサステナブル・ブランド本国のカンファレンス「SB San Diego」に現地参加された青木先生より、世界のサステナビリティリーダーたちが語った「ALL RISE」のリアルな熱量をいち早くお届けします。

続くTalk Sessionでは、「サステナブル・エコシステム」に注目しながら、国産SAF（持続可能な航空燃料）の社会実装に向けた企業連携を牽引する日揮ホールディングス様と、競合メーカーであるライオンとともに使用済み詰め替えパックの水平リサイクルを実現した花王様をゲストにお迎えします。異なる業界でありながら、いずれも「一社では成し得ない変革」を企業間連携によって実現してきたお二方のリアルな軌跡から、連携が生まれる条件と、サステナブル・エコシステムを動かす突破口を探ります。

ワークショップでは、「では自分の業界では？」という問いへと思考をシフト。グループでの対話を通じ、自社として今日から踏み出せる一手まで落とし込みます。サステナビリティとイノベーションを結ぶヒントを探しに、ぜひご参加ください。

# ゲストスピーカーのご紹介



**瀬戸 啓二 氏**  
**花王株式会社 研究開発部門 研究戦略・企画部**

1997年の入社後から、化粧品研究所の研究員としてスキンケア商品の設計、研究マネジメント、サステナビリティなどを経験。その後、2019年から研究戦略・企画部にて「リサイクリエーション」\*活動のリーダーとして、つめかえパックを再生する共創型の取り組みを推進。  
2020年に花王株式会社とライオン株式会社とのリサイクリエーション活動の協働をスタートし、2023年に両社は「水平リサイクル」を実現した「おかえりつめかえパック」を製品化。  
現在も、生活者・行政・他企業との連携を拡げながら、活動を継続中。  
\*「リサイクリエーション」とは、「リサイクル」と「クリエイション」を組み合わせた概念。



**西村 勇毅 氏**  
**日揮ホールディングス株式会社 エネルギーイノベーションユニット 部長代行 兼  
合同会社サファイアスカイエナジー 最高執行責任者COO**

2006年に日揮株式会社に入社、プロジェクト部門に配属。入社2年目にはプロジェクトエンジニアとしてベトナム国に駐在し、同国初の製油所建設プロジェクトに従事。  
帰国後はプロセス部門に移動し、主に石油精製プラントの設計業務を担当する。中東や東南アジア等を中心に海外案件を主に担当。プラント設計業務のみならず、国家レベルの新規製油所建設のプロジェクトに計画初期の段階から参画して案件実現へと導くコンサルテーション業務も多数遂行。2017年にベトナム国にとって2番目となる製油所建設の為同国に駐在。  
帰国後、縮小が続いていた日本の石油精製産業の状況を目の当たりにし、石油以外のものを原料として石油製品の代替製品を製造するグリーンリファイナリー構想に注目、中でも特にSAF(Sustainable Aviation Fuel)に注力した。  
2019年よりサステナビリティ協創部へと異動して、本格的にSAF製造事業に取り組んでいる。

# 第1回 タイムテーブル

## テーマ：企業×企業のコレクティブ・アクション 「サステナブル・エコシステム」

時間		内容	登壇者
13:30 - 14:30	60 min	分科会	
14:30 - 15:00	30 min	Break Time	
15:00 - 15:05	5 min	Opening	Sustainable Brands Japan 総責任者 兼 ESGプロデューサー / 田中 信康
15:05 - 15:10	5 min	サステナブル・ブランド ジャパンについて	Sustainable Brands Japan Country Director / 鈴木 紳介
15:10 - 15:15	5 min	今年度のSB Japan Forum について	SB国際会議 アカデミックプロデューサー / 青木 茂樹
15:15 - 15:30	15 min	<b>SB San Diego のレポート</b> 6月に開催されたサステナブル・ブランド本国のカンファレンス「SB San Diego」。現地参加された青木先生が、会場で交わされたリアルな議論をいち早くお届けします。特に今年度のグローバルテーマ「ALL RISE」をめぐって、世界のサステナビリティリーダーたちがどのような問いを立て、どのような変革の兆しを語っていたのか—その熱量ごとお伝えします。	SB国際会議 アカデミックプロデューサー / 青木 茂樹
15:30 - 16:30	60 min	<b>Talk Session + 質疑応答</b> 「サステナブル・エコシステム」に注目しながら、国産SAF（持続可能な航空燃料）の社会実装に向けた企業連携を牽引する日揮ホールディングス様と、競合メーカーであるライオンとともに使用済み詰め替えパックの水平リサイクルを実現した花王様をゲストにお迎えします。異なる業界でありながら、いずれも「一社では成し得ない変革」を企業間連携によって実現してきたお二方のリアルな軌跡から、連携が生まれる条件と、サステナブル・エコシステムを動かす突破口を探ります。	花王株式会社 研究開発部門 研究戦略・企画部 / 瀬戸 啓二 氏 日揮ホールディングス株式会社 エネルギーイノベーションユニット 部長代行 兼 合同会社サファイアスカイエナジー 最高執行責任者COO / 西村 勇毅 氏 SB国際会議 サステナビリティ・プロデューサー / 足立 直樹
16:30 - 16:40	10 min	Break Time	
16:40 - 17:15	35 min	<b>Workshop</b> Talk Sessionで得たインサイトをもとに、「では自分の業界では？」という問いへと思考をシフトします。どんな企業と手を組めばサーキュラーエコミーが動き出すか—業界を超えた連携の可能性をグループで探り、最終的には「自社として今日から踏み出せる一手」まで落とし込みます。	SB国際会議 サステナビリティ・プロデューサー / 足立 直樹
17:15 - 17:25	10 min	事務局からのお知らせ	SB Japan Forum事務局 / 木村 倫子
17:25 - 17:30	5 min	アンケート記入	
17:30 - 18:00	30 min	Networking Time	